

040 慢性の頭～頸～肩痛（2度の交通事故後遺症）

女性 三十四歳 OL

主訴 慢性の頭～頸～肩痛

現症 8年前に衝突、10年前にも追突され、ムチ打ち症を2回やる。現在、慢性の持続的な痛みがあり、鎮痛剤を服用しているがスッキリしないという。

所見 脈は「血虚緊数」、胸鎖乳突筋緊張を乗り越して硬化がひどい。脛骨外縁部が狭く（前脛骨筋溝があまりない）凝り性を伺わせる。

処置 「自律神経調整」、「帯脈」、「丘墟・上四瀆」。

経過 3回目（24日目）、頭～頸痛が軽くなり、肩こりも楽になってきた。その後、約月1回のペースで来院するが、治療中に必ず頭～頸痛がとれてくる。不思議なほど効くのでありがたい。「帯脈」だけでも軽くなるが、「丘墟・上四瀆」を丹念にすることで、一層緊張が緩んでくるのがわかる。本人も笑いがでてしまうくらいだ。

（「筋緊張緩和処置（丘墟・上四瀆）」の解説→症例041）